

# 岐阜県支部だより

第4号 平成22年3月6日

- 1 ー ◎巻頭言
- 2 ー ◎支部研究会報告
- 3 ー ◎教育相談Q & A
- 4 ー ◎全国大会に参加して
- 5 ー ◎事務局より



## 巻頭言

### 子どもたちが笑顔で育つことを願って

日本学校教育相談学会岐阜県支部理事

大竹 恵子

昨年初夏に初孫が生まれた。連日嫁を見舞い、新生児室のガラスに4人の新米ジジババが張り付いて「かわいい」を連発した。成長ぶりに目を見張りつつ、息子夫婦の子育てを客観的に観察できるように、「人が人の中で、人として愛情をかけて育てること」のすばらしさと難しさを改めて感じている。

#### 1 親の愛ーポジティブな愛情表現を

母親は子どもを授かったことに感謝し、命をつなぐのは私だと責任を感じ育てる。だが現実には、絶対時間を取られ、思うようにならない子ども中心の生活の連続である。この苦勞を乗り越えられるのは、子どもの日々の成長であり、子どもからのほほえみであり、周囲の人からの承認である。最近、子どもを丸ごと受け入れ、「あなたは、あなたのままで好き」と、言える保護者が少ないように思う。思うように育っていないから丸ごと愛せないと話す母親もいた。親が子どもを無条件に愛するだけでなく、その愛情が子どもに伝わっていることが重要である。子どもの言動を肯定的に承認したり、支持したりというポジティブな反応をし、言葉やスキンシップで愛情表現をしたい。

#### 2 教師の愛ー社会とつなぐ支援に愛情を

折しも新聞の投稿欄に、「教師である次男が父親になり、教室の一人一人の子どもたちが保護者からいかに愛されて育てられたかを知ったことは、教師としてさらに成長できる」と、その母が投稿していた。この教師のように、保護者の無条件の

愛を理解した上で、教師としての深い愛情をさらに注げることが理想である。しかも、問題行動を繰り返す目前の子ども、仲間づくりの苦手な子どもの中には、親との安定した関係ができないまま集団生活に入った子どももいることを理解できる教師でありたい。教師は子どもたちに、「学校は心身ともに安全であり、他者と深い友情や愛情をはぐくむ場所」と理解させたい。自分や人を信じ、社会に臆することなく飛び出せるように、学校と社会とをつなぐ支援を、日常的に深い愛情をもって行いたい。

#### 3 愛を感じられる子どもに

「赤ちゃんは、物に対するよりも人に対する特別な関心を生まれながらにもっている。」と言われている。実際、周囲の大人に、天使のようなほほえみを何度も向けてくれる。家族や周囲の大人の「かわいい」「大好き」「気にかける」に込められた深い愛情を、子ども自身は実感できているのだろうか。ありのままの自分が愛されていると感じている子どもは、自身が認められていることを実感し、自信をもち、自己肯定感を大きくしていく。家庭だけでなく、学校でも愛されていると確信する機会を多くもたせてやりたい。仲間との共有体験を多くし、一緒に感動し、お互いの存在感を強く実感させたい。

#### 4 愛を与えられる子どもに

「好きになってもらいたい」という受け身の子どもが増えたと感じる。自分から人とかかわり、

人と時や場を共有することを楽しみ、喜び合える価値に気付かせたい。親と安定した関係をもった子どもが、友人の中で好意を得やすいと言われる。子どもの親への愛着や家族との在り方が、子どもが人と接する時のモデルになり、大きく影響を及ぼしているからだろう。友達への思いやりを示す言動や年下の子どものお世話等を体験する中で、「やってよかった。自分が役立った。」と実感できるはず。多くの人と接することに臆病にならず、他者に愛を与える中で、健やかに育てほしい。すべての子どもたちが、毎日を笑顔で過ごしてくれることを切に願っている。

## ◇支部研究会報告◇

### ◇第3回研究会◇

第3回研究会は、10月17日（土）に岐阜女子大学にて、講話、その後2つの分科会に分かれて事例研究会を実施しました。

#### 【講話】

『ひよこの会』の歩みの中で  
親が変われば子どもも変わる  
～不登校生徒の『親の会』から学んだこと～

講師：大野澄子 先生（神戸町立神戸中学校教諭）

#### <講話の概要>

##### (1) 『ひよこの会』の発足

○中垣寿彦先生（学校カウンセラー）の講話を聞いて相手の話の行間を読み取ること、相手の心を読み取ることが大切であるというお話を聞き感銘を受けた。

○中垣先生を招いての講演会を企画

不登校生徒の親の悩みに応えることができるのではと思い、中垣先生を紹介するための会を開いたのが、この会の第1回目であった。その後、「自分育て、子育て講座」を続けている。



同じような体験をしている親同士なら共感し合えるのではと、口コミで次第に多くの人が集まるようになってきた。午前中は講演を行い、

##### (2) 『ひよこの会』を通して

同じような体験をしている親同士なら共感し合えるのではと、口コミで次第に多くの人が集まるようになってきた。午前中は講演を行い、

午後からは親の交流会をしている。参加した親は、初めは涙々、そして少し明るくなり、その後運営を手伝ってもらえるようになった。

### (3) 『ひよこの会』で学んだこと

- ・過去の育て方を反省しても解決の糸口は見つからない。
- ・気付きは大切である。
- ・言葉や行動など表に現れる姿から、子どもの心の声を聞くことが重要である。
- ・多くの親と出会ったことで、とっさの時に追いつかない対応ができた。

#### 【事例研究】

○発達障害をもつ生徒とのかかわり

事例提供：原由妃美先生（精華中学校）

○個別に配慮がいる子が数人いる学級へのアプローチ～Q-U, SGEをつかいながら～

事例提供：大西昭裕先生（北方南小学校）

それぞれの事例をもとに、「検査結果の分析や活用の仕方」についてや、「担任だからこそできるアプローチの仕方」などについて、意見交流がなされました。事例提供者だけでなく、参加した先生方の不登校生徒や発達障がいの子への指導・支援に取り組む熱意が伝わってくる研修会でした。

（文責：広報委員 安江秀人）

### ◇第4回研究会◇

第4回研究会は、12月5日（土）に岐阜女子大学にて、2つの分科会に分かれて事例研究会を実施しました。

#### 【事例研究】

○授業の中で実現する特別支援教育と校内体制づくり

事例提供：佐藤礼子先生（養老町立養北小学校）

○他人の視線が気になり、集団の中で自分の思いが上手く伝えられない生徒

事例提供：丹羽順子先生（県立加茂高等学校）

事例について、「担任以外の立場で教育相談に関わる時に大切にしたいこと」、「小中学校と高校の課題の共通点や違い」などについて話し合われました。今回は1つの事例につき2時間の研究会を行いました。参加者からは「時間に余裕があり、様子を把握するだけでなく、今後の方向までじっくりと話し合うことができた。」という感想が聞かれました。（文責：広報委員 郷田賢）

## ◇教育相談Q & A◇

このコーナーでは、最近の教育現場で悩んでみえることについて、学校カウンセラーの先生にQ & A形式でお話いただくコーナーです。

### Q:ブリーフセラピーの技法が学校教育に役立つと聞きますがどんな技法が役立つのですか？

A: 沢山あります。中でも特に使い易いと思えるのは解決志向心理療法と訳されるSFA (Solution-Focused-Approach) で使われる様々な技法です。ブリーフセラピーとは短期療法と呼ばれる心理療法で「時間制限療法」「解決志向心理療法(SFA)」「家族療法」「認知行動療法」等があげられます。

それぞれの心理療法の特徴や技法について詳しく述べる紙面はありませんが10年ぐらい前からSFAの技法が学校教育で使える技法として何冊かの著作で紹介されています。

私自身がよく使うのは、コンプリメント、例外探し、スケーリングクエスチョン、タイムマシクエスチョン、ミラクルクエスチョン、等の技法です。

中でもコンプリメントは学校教育のあらゆる場面で使える技法です。訳すると「賞賛」です。「な～んだ。そんなことならとっくの昔から私だってやっている。」と言われる方が多いと思います。そうなんです。SFAの数々の技法は心理療法以外の教育の場で数多くの教師が使っていたり、知っていたりしているものが沢山あります。

相談学会のみなさんは、是非、学んで欲しいと思います。

富加町立富加小学校 校長 山田 日吉

### Q:保護者とのかかわり方について教えてください。

A: 保護者との対応でまず大事なことは、話をいつでも「聴く」という姿勢を先生方が持っていることだと思います。また、保護者との相談という場合は、「初回面接」がとても大切です。再び、この先生と相談したいなあと思っていただけることが必要です。

保護者の不安や心配が混乱した状況を招き、持っていき場所のない気持ちを学校や先生方へ向けられていることがあります。時には、学校や先生方の対応について一方的な主張をされることもあるかもしれませんが、まずは弁解せずに受け容れることです。肯定的に支えていくということです。大切なことは、受け容れたあとの保護者と「一緒に考えていきましょう」という先生方の姿勢です。また一方で、保護者に対して「できないことはできない」と伝えておくことも大事なことです。説明責任を怠らないことです。

そして、保護者会や個人懇談のような決まった時間での会話だけでなく、来校された時の玄関先での対応、電話での会話など、何気ないやりとりの中での会話が大切です。保護者の方の多くの中に、我が子を先生はどのように見ているのだろう」という気持ちがあります。家庭への連絡では、子どもの調子が悪いときだけでなく、子どもの良さも常日頃の学校生活において把握しておき、何かの機会を見つけては、その良さを保護者に話しておくことです。その積み重ねが、保護者との信頼関係につながっていきます。特に、いつも学校からの連絡が子どもに関しての注意が多くなりがちな保護者には、学校でがんばっていることや、できている点なども、事前に伝えるように心がけておくとよいでしょう。

生徒との関係や保護者との関係でも、共に信頼関係を結ぶことが大切ですが、もし、うまくいかないことがあれば、「一人でかかえることはストレスをかかえること」と肝に銘じて、管理職の先生方などに相談してください。負担になっていることを、複数で分け合うこと、役割分担することも、保護者とのかかわりでは重要なことだと思います。

学校法人西濃学園中学校 教頭 平林克友

このコーナーで学校カウンセラーの先生に取り上げてほしい内容がございましたら岐阜県支部事務局までご連絡下さい。  
(E-mail: sodan-gifu@plum.ocn.ne.jp)

**日本学校教育相談学会**  
**第20回 中央研修会 参加報告**  
開催日：平成22年1月11日(月・祝日)  
会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

今回は新型インフルエンザ流行のために全体研修が取りやめとなり、コース別研修のみでした。参加したのは「情動スキル入門」です。

**「情動スキル入門」**

福岡教育大学大学院  
教授 小泉 令三 先生

**1. 社会性と情動の教育(SEL)**

Social Emotional Learning は、自己の捉え方と他者とのかかわり方を基盤とした、対人関係に関するスキル、態度、価値観を育てる、一次的教育援助サービス。社会性と情動の適切な表出スキルの獲得が、学校現場に望まれている。

情動Emotion は感情Feeling に比して、次の行動・変容につながる動的なものとして捉えられる。湧き起こる情動は消すことができないので、コントロールすることが大切。

**2. SELでねらう8つの能力**

＜基礎的な社会的能力＞

- a 自己への気づき
- b 他者への気づき
- c 自己のコントロール
- d 対人関係
- e 責任ある意思決定

＜応用的な社会的能力＞

- f 生活上の問題防止のスキル
- g 人生の重要事態に対処する能力
- h 積極的、貢献的な奉仕活動

実態に合わせてターゲットを絞る

**3. SELのねらいとする能力の内容**

- a 自己への気付き  
自分の感情に気づき、自己の能力について現実的で根拠のある評価をする力。
- b 他者への気付き  
他者の感情を把握し、他者の立場に立つことができるとともに、多様な人がいることを認め、良好な関係をもつことができる力。
- c 自己のコントロール

物事の適切な処理のために情動をコントロールし、挫折や失敗を乗り越え、妥協による一次的な満足にとどまることなく、目標を達成できるように一生懸命取り組む力。

d 対人関係

周囲の人との関係において情動を効果的に処理し、協力的で、必要ならば援助を得られるような、健全で価値のある関係を築き、維持する力。ただし、悪いことは断り、意見が衝突しても解決策を探ることができるようにする力。

e 責任ある意思決定

関連する全ての要因と、いろいろな選択肢を選んだ場合に予想される結果を十分に考慮し、意思決定を行う。その際に、他者を尊重し、自己決定については責任をもつ力。

f 生活上の問題防止のスキル

健全な家庭生活、身体活動プログラムを取り入れた運動の習慣化、暴力やけんかの回避、精神衛生の促進などに必要なスキル。

g 人生の重要事態に対処する能力

進学への対処、緊張緩和や葛藤甲斐性の方法、支援の求め方、家庭内の大きな問題や死別への対処などに関するスキル

h 積極的、貢献的な奉仕活動

ボランティア精神の保持と育成、ボランティア活動への意欲と実践  
具体的な基本カリキュラムは、現在作成中とのことでした。

(文責：坂内中学校 野村忠弘)

**事務局より**

**◆平成22年度 岐阜県支部研修会予定◆**

- 第1回(総会・記念講演) 6月19日(土)
  - 第2回(ワークショップ) 8月20日(金)
  - 第3回(講話・事例研) 10月16日(土)
  - 第4回(事例研) 12月4日(土)
  - 第5回(講話・事例研) 2月19日(土)
- ～会員の皆様のご予定にお加え下さい。～

日本学校教育相談学会岐阜県支部会報第4号  
2010年(平成22年)3月6日発行  
発行：日本学校教育相談学会岐阜県支部  
編集：日本学校教育相談学会岐阜県支部広報委員会  
<http://www1.ocn.ne.jp/~sodangif/>  
E-mail : [sodan-gifu@plum.ocn.ne.jp](mailto:sodan-gifu@plum.ocn.ne.jp)